

映画『オペレッタ狸御殿』余話……

中大書道会

「オダギリジョーもチャンツイーの名前も、私たちが毛筆で仕上げました」

狸と人は恋におちてはなりません……。

オダギリジョーとチャンツイーの夢の共演、美空ひばりのデジタル出演、鈴木清純監督がメガホンをとった映画「オペレッタ狸御殿」。カンヌ国際映画祭の特別招待作品にも選ばれ話題になった。そのオープニングを飾ったのは、なんと中央大学書道会だった!! 今宵は満月……「オペレッタ狸御殿」を観たあなたも、知らないあなたも、オペレッタ狸御殿ワールドの舞台裏に、いざ、いざ。

学生記者 池内真由 (法学部1年)

狸につままれた夜

時は2004年10月25日の夜。宙天に月が傾いて、妖しくサークル棟を照らしていた。

突然、書道会に思いもしない1本の電話が……。映画「オペレッタ狸

御殿」のエンディングロールを書道会員に書いてもらえないか、という依頼だった。

「オペレッタタヌキゴテン? オダギリジョーとチャンツイーが主演? 映画のエンディングロール?」

あまりにもおいしい話に、その場にいた田中利枝さん(文・英文3 当時)ら会員5人はキツネに、いやここはタヌキにつままれたような気分になった。「絶対あやしい。ウソに決まっている」。映画の題名も聞き間違えてしまった。疑いながらも、すぐに自宅にいた会員に連絡をとり、本当にそんな映画があるかをパソコンで調べてもらうことにした。賢明な判断である。「本当にあるよ」と知って大興奮、衆議一決。「ヨロコビで」と依頼に応じることにした。さて、この内幕は……というところ。

時はうんとさかのぼって、1939年公開の「木村恵吾の狸御殿」を嚆矢として、日本映画の黄金期である40~50年代には数々の「狸御殿」シリーズが生み出された。「けんかえれじい」(66年)「ツイゴイゼルワイゼン」(80年)他知られる鈴木清順監督は青春時代にそれらの作品に出会い、オリジナルの狸御殿を製作することを夢見ていたという。今回デジタル出演した美空ひばりは、この「狸御殿」シリーズの「七変化狸御殿」、「大当たり狸御殿」に出演している。

オペレッタ狸御殿って……?

助監督であり、中央大学・文学会のOBでもある末永賢さんが、はちゃめちゃでフレッシュな感覚の字を求めて書道会に電話したのであった。鈴木清順監督はエンディングを筆字で飾るため、適任者を探していた。のちに分かるのだが、はじめプロに依頼してみたものの、どうも映画のイメージに合わない。そこで、末永さんが母校のよしみで、書道会をプロの書道家の対抗馬として推薦したというワケ。大抜擢である。

書道会 Vs プロの書道家!?

書道会は、当初の予定ではエンディングロールを担当するはずだった

だが、途中でエンディングは活字に変更となった。そして、出演者の名前、それに主な製作スタッフの名前を、オープニングに筆字で書くことを任されることとなった。

書道会会員30人のうち、「ぜひ私」が」と名乗り出たのは10人。19枚あるコンテのうち数枚ずつ10人に配分され、楷書で一番美しいとされる歐陽詢の『九成宮醴泉銘』を手本に書き、恵比寿にある小椋事務所にもっていった。その中から監督が選んだのは、田中さんと、福井萌香さん(文・国文4)。

「私でいいんだ」と、田中さんは喜びより驚きのほうが大きかったそうだ。ノリノリで語る田中さんだ



笑顔から、一瞬の集中…「終」の一字に挑む田中利枝さん

田中さんは朝11時から夜の9時まで正座で書き続けたそう。一方の福井さんは、家であるていど書いてきて、夕方から梅の間で仕上げにかかったという。おのおの流儀もま

が、書道の実力はさすが、である。書道教室には小学1年から6年までの6年間で二段を取得し、これまでもらった賞状も、40枚は下らないという。

一難去つてまた一難——。選ばれたふたりは、今度はそれぞれがコンテ19枚分全部を書かなければならなくなつた。しかも、2人の字が使われるかは2人の書の出来いかんにかつていた。監督は、プロの書道家のものをを使うか、書道会のものにするか決めかねていたのだ。

2人はプロの字を実際に見たそう。 「やっぱりすごうまかつたです。サークル棟の「梅の間」にこもり

書体字典から役者・製作者の名前の文字を探した。チャンツイーら、カタカナの場合は字典にないので自分で一から書いた。「映画に使われるのに、ほとんど一発書きだったんです」。夕方に助監督が饅頭やお茶を差し入れてくれたりしたが、甘いものが苦手な田中さんは食べなかつたという。九時ごろには疲れきつてへろへろ。

「もともとあつた薬指の筆だ。これが、まるで鉄棒でできた、できたてのママのように赤くなつてしまいました」と笑う。ホラちようどのへんに、と手を見せて。「これぜんぶ書道家が使われた日にゃ、うち



た違う。

ジョー(左)とチャンツイー共演の「オペレッタ狸御殿」=日ダギリジョー(左)とチャンツイー共演の「オペレッタ狸御殿」=日本映画提供

らの苦勞は……」と福井さんとふたり、顔を見合せてつぶやきも出たらしい。

疲れきつた仕事の後は家でゆっくり、とはならず、助監督は福井さんと田中さん、さらに他の書道会員を伴つて高幡不動へ繰り出し、飲んだあとはカラオケで朝まで歌つた。いわゆる「オール」。

「助監督はテレサ・テンを歌うと『ナインセンス、ナンセンス』と叫ぶのに、中島美嘉や椎名林檎を歌うと喜ぶんですよ。37〜38歳くらいの方なんですけどね」(笑)

アルバイト費として1万円をもらつた。たくさんのPricelessな時間添えて。

ふたりで書いた19枚のコンテは、話し合いの結果、「オペレッタ狸御殿」の題字は福井さんのものを、残りの18枚は田中さんのものが採用されることに決まつた。そう、なんと書道会がプロを負かしたのである。

「記念の肉筆」を見せてもらえます? とお願いしたら、「いえ、あ

これは助監督にあずけたので、手元には1枚もないんです。あつまりしたものである。そんなわけで、文末を飾る「終」の字は、「梅の間」であの目を思いだしながら、もう一度、「揮毫」してもらったのである。

7月の終わり。就職活動やら前期のテストやらで、「半年くらい書いていないから」と、田中さんは何枚も何枚も試し書きすること、じつに3時間。そして、成った流麗な1枚。気の集中、筆尖から一気に流れて文字となる。夜の9時を回っていた。「書」とはかくも大変な「道」なんですわね。

これがきっかけで、書道とは直接関係のないアフレコ協力の依頼もされた。調布のスタジオで、狸御殿の宴会のシーンに、

「あなめでたし、あなたのみし」と繰り返し吹き込むというもの。日程の調整がつかなかった福井さんと田中さんの代わりに、書道会の加藤さゆりさん(文・教育3)小澤友花さん(文・日本史3)が参加した。こちらは図書券1000円をゲットしたそうだ。

書道会に電話がかかってから約1

カ月ですべての協力が終了した。昨年11月のことである。「こんなにあつという間にオープニングが作られてしまうのか」という印象を受けたそうだ。映画は12月に完成、ことし5月に公開された。「公開のだいぶ前から映画はできあがっているんだなあ」。これも田中さんの素直な感想である。

見ないで!!

映画の製作協力をした、なんて友だちに思わず自慢したくなってしまような話。ところが当の田中さんはあまり人には言えなかったという。

福井さんと田中さんは、五反田の初号試写会に参加した。スタッフの会・俳優の会のうち、ふたりが参加したのはスタッフの会。俳優の会ではなかったため、主役のオダギリジョーもチャンツイイーの姿も拝むことはできなかったけれど、出演者の市川美和子に会えたという。鈴木清順監督とは一言も話す機会はなかった。でも、と田中さんはこんなエピソードを。「恵比寿の小検事務所では、ここはオダギリジョーの座った席だよ、と聞いてその椅子に

座ったり、映画『下妻物語』で深田恭子の着た衣装がおかれていたり。ウキウキしました」

いざ映画が始まると、田中さんはわけも分からず「震えた」という。うれし恥ずかし、自分の書いた字が映画のオープニングを飾るというプレッシャー。「自分が満足している、《美空ひばり》以外は、誰にも見せたくない、隠したい」気持ちでいっばいだったとか。自分の親にさえていられないという。「よかったことといえば、就職活動で自分がしてきたことのアピールに使えたってことですわね(笑)」

さあ、続きはあなたの家で

奇抜な映像の世界が繰り広げられる清順版「オペレッタ狸御殿」。観ての感想は、二様だったようだ。田中さんは「アバンギャルドだとは思いますが、自分の映画の趣味には合わなかった」そう。一方、映画通の福井さんは「おもしろくて、すごくよかったです」という。助監督さん曰く——『マツケンサンバ』みたいなおちゃらけた映画」。

魅力的な出演者に加え、国際的に

注目されている鈴木清順のつくりだした映像には今までの映画では見たことのない世界が広がっている。また、故人美空ひばりのデジタル出演は、彼女の声を全て一から作り出すという新技術を駆使して叶った。上映劇場数が少なかったため国内で知らない人もいるかもしれないが、「オペレッタ狸御殿」はカンヌ特別映画祭に特別作品として出品され、世界的にも注目を浴びた作品である。

ここで紹介したのはオペレッタ狸御殿の内幕の、ほんの一部。観たあなたは書道会がどこを協力したか、観ていないあなたはこの「オペレッタ狸御殿ワールド」をぜひぜひ、自分の家で満喫してください。

急いで！ レンタル・ショップへ。

終